

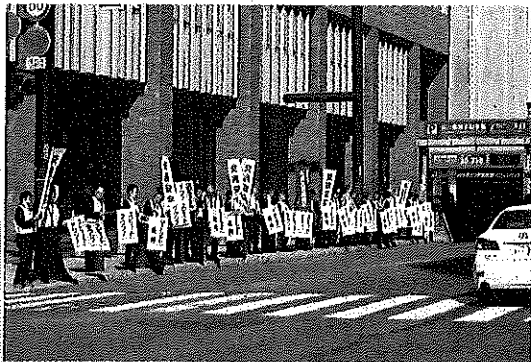
交通事故をなくそう

札幌建設業協会（岩田圭剛会長）は26日、札幌市中央区北1条西6丁目

の交差点で、2019年度2回目の交通安全街頭啓発をし、歩行者やドライバーに事故防止を呼び掛けた。

第40回建設産業交通安全

式で交通安全・暴力対策委員会の竹田邦治委員長は「工事の追い込み期に入り、交通労働災害防止に一層気を引き締める必要がある」と指摘。「交通安全に対する熱い思いをドライバーに呼び掛けた」と述べた。



や歩行者に届き、交通事故が1つでもなくなることを願う」と呼び掛けた。

この後、北1条通と西7丁目通の沿道に分かれ、旗やのぼりを掲げてスピードダウンやシートベルト着用を呼び掛けた。

1-9.27 北海道建設新聞

札幌市街地で街頭啓発実施

交通安全に思い込めて

会員58社から130人参加

札幌建設業協会



札幌建設業協会（岩田圭剛会長）は26日、札幌市内の中央区北1条西6丁目の交差点で街頭啓発を行った。協会の会員企業58社から130人が参加。晴天の中、手旗やのぼりを掲げて、旗の波運動を展開した。

秋の街頭啓発は、建設産業交通安全推進北海道本部の主催

関係者が旗の波運動でスピードダウンを呼びかけた。

「建設業の死亡災害の2割が交通事故によるもの。これから工事追込期に入り、交通事故防止に気を引き締めていく必要がある」と取組の重要性を強調。参加者を前に「熱い思いで交通安全を呼びかけてほしい」と訴えた。

来賓として出席した中央警察署の岡部修司交通官はことしの道内の交通死亡事

する「建設産業交通安全大会」開催前に行う協会の恒例行事。活動を前に、札幌カーナパレスで出発式が行われた。

交通安全・暴力対策委員会の竹田邦治委員長は、この時期に行う街頭啓発について「建設業の死亡災害の2割が交通事故によるもの。これから工事追込期に入り、交通事故防止に気を引き締めていく必要がある」と取組の重要性を強調。参加者を前に「熱い思いで交通安全を呼びかけてほしい」と訴えた。

1-9.27 北海道通信

故の状況を「9月単月分では、昨日現在で前年同期より6人多い15人が亡くなっている。全国ワースト1になりかねない」と説明。高齢者事故の多発も懸念される中、「皆さんの活動の思いがドライバーに伝わり、事故が減ることになる」と

激励した。

このあと、一行は活動場所に移動し、アーバンネット札幌ビル周辺の西7丁目通と北1条通で街頭啓発を行い、道行く市民やドライバーに安全旗を振って交通安全を訴えた。